



ひまわり組だより 9月号

平成29年 9月20日 こどり保育園 担当:島田



保育室に爽やかな風が吹き抜け、秋の訪れを肌で感じられるようになってきました。

運動会の練習が熱を帯びてきました。鼓笛やかけこ練習、玉入れやおゆぎもあり、覚えることがたくさんです。子ども達は、楽しんで練習をしてくれるのか心配していましたが、おゆぎでは私達保育者が少しでも踊りと間違えたりすると、「あ、そこ違う。こうだよ。」と教えてくれる程になっています。特に、「伸ばして曲げて乗せて、OK」という振り付けが気に入ったようで、ひと際元気な掛け声で喜んで練習をしています。そして、来年度への期待も芽はえているようで、ゆり組さんの演奏を見ながら、「私、大太鼓。」「僕は指揮杖。」と担当してみたい楽器に注目して見学をしています。

また、十五夜のお月様の話になると、「水星、金星、地球……」と太陽から近い順に惑星の名前を言ってみる子がいたり、9月の製作では栗を作ったのですが、イメージを広げるために「枯れ葉が落ちる、9月の木はどんな色かな？」と紅葉している木が載っている本を見せると、自分が描いた緑の木と見比べ、上から黄色やオレンジ色を塗り重ねてみる子がいたり、観る力がついてきているようです。

今後を感じ取ったことや思ったことを素直に表現し、成長に繋がるよう見守っていきたいと思っています。

